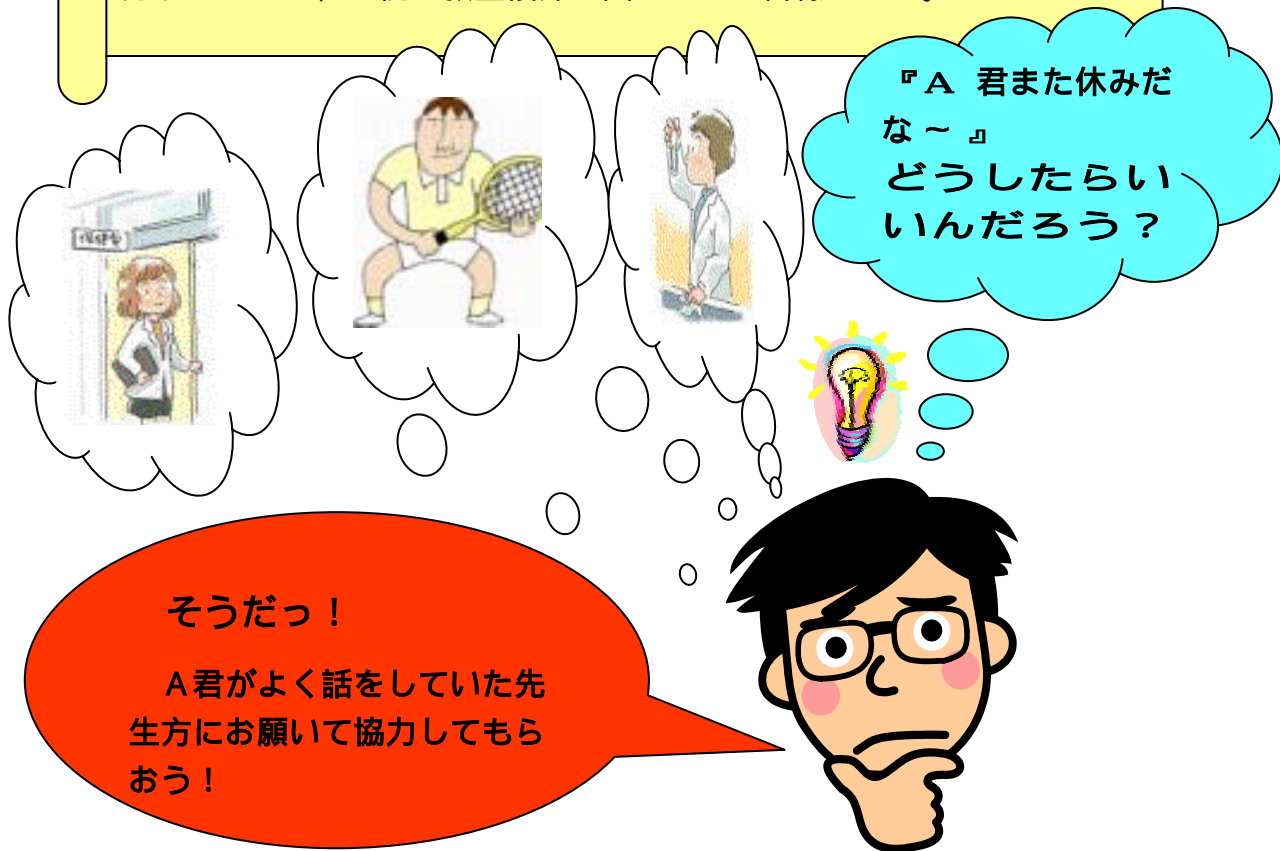


# 教室への復帰を目指して

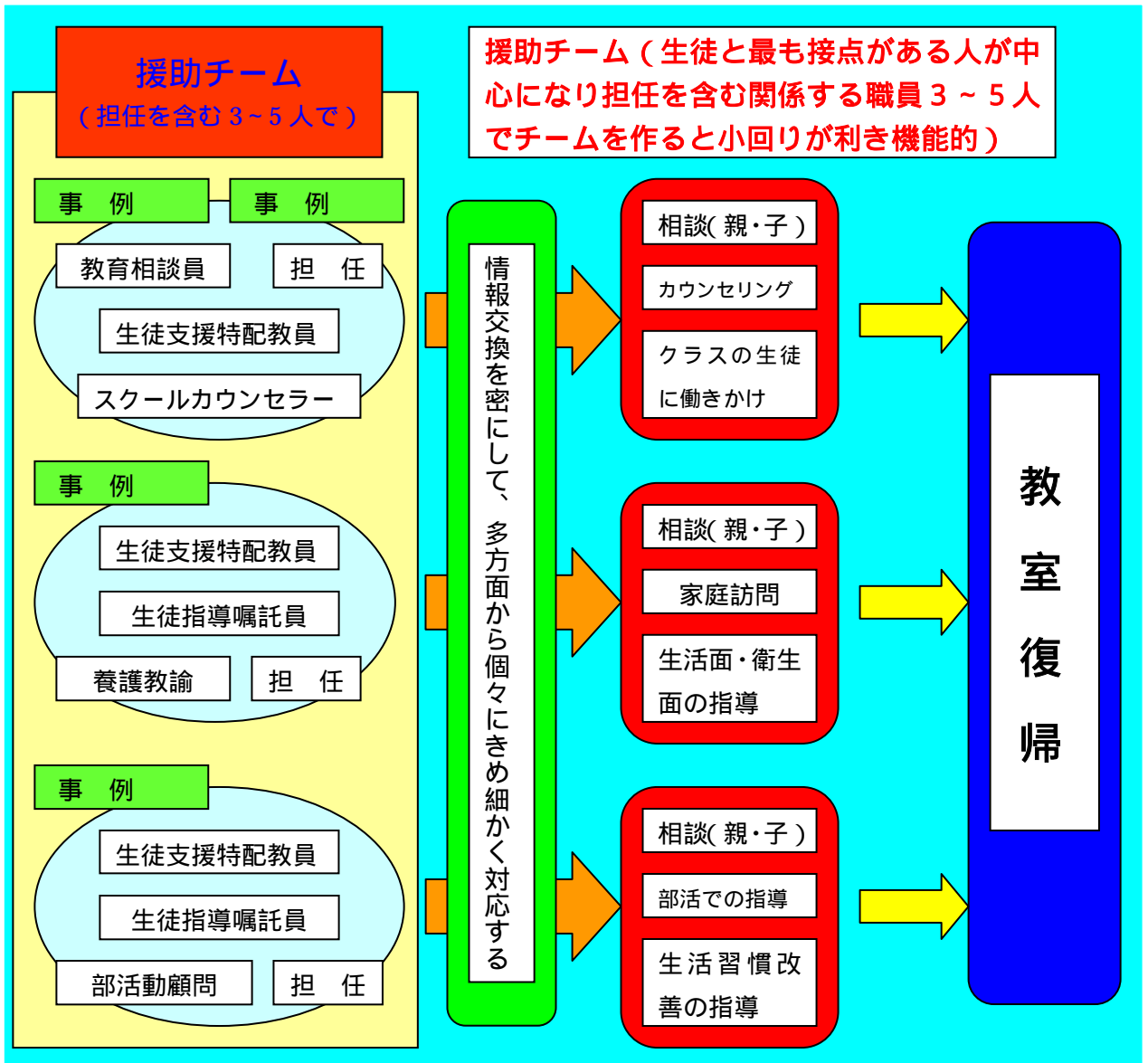
## —チーム援助を通して—

須田 佳明

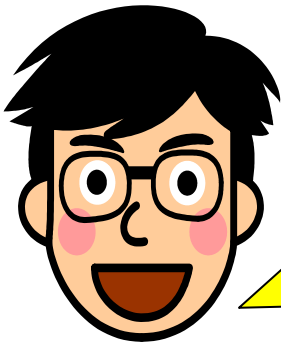
「ほっとルーム」(適応教室、相談室)に登校する個々の生徒に対して、生徒が心を開いている教職員で少人数の援助チームを作り、情報を共有しながら連携し、それぞれの持ち場から計画的にきめ細かく対応することで、生徒の教室復帰を図ることを目標とした。



## 様名中のシステム



### 改善されたこと



不登校や不登校傾向の生徒に登校を働きかけたり、ほっとルームから教室へ復帰させたりするには担任など個人の力ではなかなか難しいね。でも、不登校や不登校傾向の生徒が心を開いている教職員を中心にチームを組んで、生徒個々に対しての話し合いを持ったり、情報交換をしたりしながら生徒に多方面から迫ることができると不登校や不登校傾向が改善した生徒が増えたよ。